

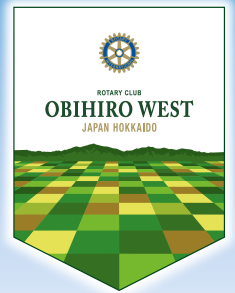


帯広西ロータリークラブ

第2320回例会

2020.9.17

会報



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

ゲスト紹介



RI第2500地区ガバナー ガバナー補佐 地区幹事

松田 英郎 様 柴田 博美 様 軽米 達也 様



オンツー・台北委員長 ガバナー補佐
シクレタリー

市村 英規 様 加藤 貴裕 様

バナー交換



公益財団法人ロータリー米山奨学会から感謝状



感謝状三千万円達成クラブ帯広西ロータリークラブ殿。

貴クラブはかねてより米山奨学会事業のために多額の寄付をされました。その功績大なるものがあります。

よって本奨学会はそのご理解とご協力に対し感謝状を贈り信心なる敬意を表します。2020年6月30日公益財団法人ロータリー米山奨学会理事長 齋藤直美。

会長報告

佐々木 和彦 会長

本日は松田さまガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。

新型コロナ対応でさまざまなスケジュールが変更中止になる中、地区運営



に大変ご苦労されてると思います。また7月釧路から始まりました公式訪問も通常とは異なる対応が必要となり大変だったと思います。公式訪問も後4クラブもう少して終わりますが、その後も様々な行事がありご多忙かとは思いますが、ご自愛いただきご活躍されることを祈念いたします。

例会に先立ちまして行われました会長幹事懇談会では、西クラブの状況をお聞きいただきそれに対して様々なアドバイスを頂戴いたしました。今後のクラブ運営に活かしていきたいと思っております。

10月に開催予定だった地区大会は来年5月に延期となりましたが多くのメンバーで参加させていただきたいと思っております。申し遅れましたが松田ガバナー志を頂戴しております。以上会長報告とさせていただきます。

会務報告

小野 辰夫 幹事

①帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内
(ガバナー公式訪問)

日時 9月18日(金)午後6時

場所 インザスイート

②帯広南RC、9月21日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、9月22日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、9月30日(水)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、10月5日(月)の例会は、休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内
「祝！喜寿・古稀・還暦」

日時 9月24日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル



委員会報告

伊藤 公康 社会奉仕委員長

7月に九州豪雨災害がございまして皆様よりご支援を頂きました。53,000円ご支援頂きまして地区の方にお送りさせて頂いております。次に来週9月21日に十勝ジュニアフットサルフェスティバルを開催する事が決定いた。コロナ対策で例年より少しチーム数を減らし3年生から6年生まで各4チームでリーグ戦総当たりで行いたいと思っております。人数



会長 佐々木和彦
幹事 小野辰夫

副会長 森 房明
副会長 太田 豊

会場監督理事 菊池 俊博
プログラム委員理事 熊切 宏樹

発行：広報委員会
委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



制限がございますが、もしご参加される方がいらっしゃいましたら芽室総合体育館で行っておりますのでよろしくお願いいたします。

ニコニコ献金 佐藤 聡 創立50周年実行委員長
佐々木 和彦 会長

ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です。宜しくお願いします。

小野 辰夫 幹事

本日担当例会です。宜しくお願いします。

柴田 和明

ガバナーをお迎えしての公式訪問例会宜しくお願いします。

河西 智子

お誕生日祝いありがとうございました。



平田 宗利 会計

ノルマにご協力致します。

森 房明 創立50周年実行委員会幹事

50周年第1回実行委員会開催します。宜しくお願いします。

佐藤 聡 創立50周年実行委員長

本日50周年の実行委員会 第1回目の会議が開催されます。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

ニコニコ 献金	9月17日	24,000円
	累計	207,000円 (9月17日現在)

◻プログラム

「ガバナー講話」

RI第2500地区ガバナー 松田 英郎 様
第6分区ガバナー補佐 柴田 博美 様



まずは、ガバナーエレクト研修会、国際協議会に皆様の人頭分担金の一部を使わせて頂いた事にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

思い起こせば、一昨年7月に東京でガバナー会に参加し、11月神戸でのロータリー研究会でガバナーノミニー研修会があり、ガバナーへの道が始まりました。会合ごとに多くの方々との出会い、ロータリーの勉強があり、まだまだ不十分ですが、少しずつロータリアンに近づいた気がします。

私のホームクラブは富良野クラブです。1993年に入会しました。職業分類は外科医です。40年医師として患者さんを目の前にしてお話するのはリラックスしてできるのですが、ロータリーの関係のお話となると、まだまだ、わからない事が多く、自信がありませんので緊張しています。ガバナーだからといってロータリーに関して精通しているわけではございませんし、多くの先輩ロータリアンのいる前でしっかりと話をお話できるかどうか非常に不安です。

先ず自己紹介を致します。私は昭和30年生まれ未年生まれです。生まれたところは旭川です。

私の履歴ですが、父親の仕事の関係で幌加内町、紋別市、小学生の1年から3年まで雄武町で暮らしました。その後、旭川市で10年間の学生生活を送り、大学卒業後旭川医大に研修医で戻りました。

北大、札幌厚生病院に勤務し、旭川に戻ってからも道東の病院を中心に出張していました。縁あって、富良野での開業の話があり、平成3年(1991年)10月に開業し現在に至っております。ロータリー歴は、開業の時に大変お世話になった方のスポンサーで1993年に入会させて頂きました。

還暦を過ぎて、このままの生活を続けていってどんどん肉体的にも衰え、仕事をこなすのも時間がかかるようになり、あわただしく人生を過ごして終わるのかなあ。と感じていました。それじゃ淋しすぎると思い、趣味も特技もないので、ロータリーで居場所を見つけたいと富良野クラブのメンバーにガバナーを目指したいとお話させて頂きました。クラブの皆様の御許しをいただいてからの、ロータリーの会合は楽しいことばかりで、元気に活躍されているロータリアンに巡り会う事の喜びは実に目から鱗の貴重な経験でした。

私の人生設計ですが、開業するまでは将来のことも対して考えたことも無く、毎年のように転勤し、勤務医生活をしていました。36歳で開業し、今後、定年は自分で決めなければならないと思い、医師の修了、定年をイメージしてビジョンを描いていました。ロータリーでも戦略会議の重要性を強調しておりホルガークナークRI会長も各クラブに会議を開催して5年後のビジョンを明確にする事を強調されています。人生も、クラブ組織も将来の見通しを描くのは大切だと思います。皆様の職業でも目標をもって経営などされていると思いますが、いわゆる終わり、達成目標をどう迎えるかを考えている方もいると思います。ロータリー活動には終わりはありませんが、「どの様に関わって、どの様に成長させていくか」を考えることはクラブの活性化には必要なことであります。私の人生設計図はともかく、年度の終わりを意識すると行動計画をいくら練っても足りないと感じると思います。

改めて 基礎知識を確認しましょう。現在、世界のロータリアンの数は約117万5000人です。

昨年から1万4000人ほど減少しています。世界の地区とクラブ数は36,170です。インドで増え、アジアは北米を上回りました。世界の国、地域は200以上で、世界に525地区あります。日本にはそのうち34地区があり、クラブ数は2,238クラブです。日本の会員数は85,487名で、私が入会した1993年には約12万人の会員がおりました。この1年でマイナス2400人ほど減少しました。

2500地区のクラブ数は67クラブ、2,208名の会員です。こちらも少しずつ減ってきています。昨年に比べて46名減少です。今までのRI会長は、会員増強を強調しておりました。前会長のマローニーさんも穴の空いたバケツに水を入れると言った表現で、退会防止を強調されました。

なぜ？日本のロータリアンの減少が止まらないのでしょうか？人口は2005年をピークに減ってきています。今後益々、高齢化がすすんでいきます。人口減少と高齢化は会員数の減少に関連していると考えられます。そして、この度の武漢ウイルス感染症が経済に甚大な影響を与えています。経済の停滞、衰退も減少の一因でしょう。でも、会員減少を手をこまぬいて、いいのでしょうか？

我々が、今ロータリアンである事の根本的な事を考えてみます。奉仕活動を継続できるクラブを維持する

には、辞める人以上に、入会があればいいと思います
が、辞められた方がロータリーのすばらしさを解ら
ないで退会することは、本人にとっても、クラブにと
っても不幸なことです。今から訪ねる質問にヒントを
見つけて頂ければ、会員減少のスパイラルを脱して
いけるような気がしました。そして、具体的なアイ
デアが湧いてこれば嬉しいと思っています。

なぜロータリアンになったのでしょうか？数あるボ
ランティア団体の中でロータリーをなぜ選んだのか？
先輩に勧められた。友人に勧められた。親がロータ
リアンであったから。元請け、業界の関係で入会せ
ざるを得なかった。立派なロータリアンの活動に感
動して入会したかったから。自分商売にメリッ
トがあると思ったから。前任からの引き継ぎで、何
となく。色々な理由があると思いますが、私にとっ
ては理由はそれほど問題はないと思います。入り口
はどの入り口でもいいと思います。入ってから興味
を持てばいいと思いますし、会員のモチベーション
の温度差はあってもいいと思います。

奉仕の精神を持つ、ロータリアンなる事に意味があ
ると思います。

次にロータリーって何だろう？今、言える方は相当
にしっかりした方だと思います。目的は意義ある事
業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこ
とにある。とあります。私たちロータリアンは、そ
れに加えて、基本理念、「四つのテスト」「5大奉
仕部門」に従って行動してきました。ロータリー
の使命は、職業人と地域社会のリーダーのネット
ワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励
し、世界理解、親善、平和を推進することです。そ
れらの、基本的理念だけでなく、ロータリーには
ロータリー財団という組織があります。そして、
ロータリー財団は寄付を受け付け、資金を配分し、
ロータリーの使命を果たすために、共に活動して
います。

ロータリー財団は非営利団体の格付け機関である
チャリティナビゲーターの格付けで11年連続の最
高評価を受けており、信頼できる組織です。実に
我々の寄付金の91%がプログラムに活用されて
います。ちなみに、日本ユニセフは寄付の81%
をアメリカ本部に送られています。財団が極めて
効率よく運営されているかが理解できます。我々
は誇りを持って、「ロータリアンだと自慢できる立
場にある」という事です。「I'm a proud member.」
なのです。

なぜ退会しないか。クラブでやりたいことがある。
役職に就いてしまった。もっと知りたいことがあ
る。居心地がいい。どちらかと言えば楽しい。何
となく。などあるでしょう。高い会費で例会も頻
回。奉仕活動にストレスを感じる方も多いでしょ
う。でも、辞めたい「そぶり」が見えたら、説
得しましょう。自分自身も、会費に見合わない、
やめようかなと感じたら、我慢して例会に出ま
しょう。

辞める理由を見つけるのではなく、辞めたくない
理由を考える事が重要です。クラブ活動の目的が
見えないなどクラブに不満があってもやめたら
ダメです。やめたら、体調不良、会社が潰れそ
うだとか、先が短い余命が短い、家族に問
題があり、奥さんが脱げたとされるかもしれ
ません。続けていけば嫌なことでも慣れ、少し
ずつ解って行きますし、だんだん好きになっ
てきます。嫌なことでも「好きだ好きなんだ」と
念じましょう。クラブに自分が必要なんだと
言い聞かせましょう。絶対に居場所があります。
きっと好きになり楽しめます。

なぜ入会を勧めるか。わざわざ会費を払って奉
仕活動をする団体に、なぜ入ろうと誘うか？

仲間を増やしたいから。いいことがあるから、
会員増強委員会になったから仕方なく。など
あると思います。入会して、どんなメリッ
トがあるの？と言われるかも知れません。ロー
タリーが与えてくれるものはたくさんありま
す。まずは、かけがえのない人との出会い、
友情、リーダー

シップ、職業人としての成長、個人としての成長、
世界に触れる機会とのめぐり合い、地域社会との
つながり、倫理原則、家族向けの機会、人前
で話す能力、地区での活躍の機会があります。
このように多くの、無形ですが、いずれも「何
物にも代えがたい」見返りです。強調してみ
ましょう。

これらの、なぜの答えを丁寧に示してあげれば、
入会へのきっかけとならないでしょうか？き
っと、今、気づいていないですが、隣にロー
タリアンの候補者がいるはずですよ。

では私はガバナーになりたかったか、を今
一度説明いたします。今までの狭い世界でなく、
みたことの無い世界を見たいと言う好奇心
です。前段で話した、年をとって、今までの
仕事だけで死んでいくのが寂しく感じて
いました。私は、入会から、ほぼ富良野
クラブの活動にだけに参加し、地区大会、
IM、周年行事、世界大会にも決して多く
参加したわけで無く、デューティであ
った時に面倒と感じながら、いやいや
参加していました。財団、米山奨学
会、青少年交換など、地区の活動も分
からず、2300人の地区の仲間の活
躍も知りませんでした。地区活動情
報を知合えるチャンスはありましたが、
自分から避けてしまっていました。今
から考えるともったいないことです。
今実感することは、立場が人を作り、
それぞれの立場で見える景色が違
うと言うことです。まさに、今、素
晴らしい世界に巡り会っています。こ
の度のクラブ訪問も新しい出会いで、
自分の成長があります。感謝して
います。成長は年をとっても嬉しい
ものです。ですから、皆さんもちょ
っと背伸びして、景色の違いを感じ
てみましょう。参加は面倒だと思
っても、思い切って色々な会合に参
加してみましょう。素晴らしい出
逢いに感謝するはずですよ。

さて、昨年末から中国で発生した武漢
ウイルスのパンデミックで、ほとん
どの例会、IM、周年行事、等々の
会合が中止を余儀なくされています。
日本、世界で、今も感染が広が
っており、終息の兆しも見えませ
ん。半年たってもまだ得体の知
れないウイルスです。治療、予
防も明確ではありません。多く
の人が亡くなり、ソーシャル
ディスタンスという名の下で、
隔離、移動制限で今まで経験
のした事の無い不自由な状況に
陥っています。コミュニティー
が分断され、ロータリー活動
の崩壊の危機を感じました。さ
らに、今の文化が死んでしま
わないか不安がよぎります。こ
のウイルスは「新しい生活
スタイル」の名の下に人間関係
をズタズタ引き裂こうとして
います。武漢ウイルスはロー
タリーへの挑戦の様な気がし
ました。常識や当たり前が無い
世の中に、困惑するばかり
です。今すぐ、世の中の仕組
みをすぐに変えることはでき
ないので、慎重にクラブ活
動を行う必要があります。数
年後収まるとは思いますが見
通しがつかない事ばかりで、
現状、どうやって対応して
いいか、手探りといっても
いいと思います。世界のグ
ローバル化に警鐘を鳴らして
いるのかも知れません。そ
して、お隣の国を冷静に
みるきっかけになったかも
知れません。これから「
ニューノーマル」との表現
ですが、明らかにアブノ
ーマルに生活しなければ
なりません。しかし、今
後、絶対に「善行の死に
してはならない」と思
います。知恵を絞り、世
の中のために自分の職
業奉仕を行いながら、
改善を重ねながら、
奉仕活動を行わな
ければならないと思
います。そして、
みんな、これから
新しい奉仕活動
を開発して、
ロータリーに入
会してよかつた
と、会員と会員
候補者にア
ピールする
チャンスです。
皆様のワン
ランクアップ
した実力を
発揮する機
会の扉を開
きましょう。
そして「大
胆な改革」と「
今こそ相互
扶助」が大
切だと思
います。

さて、国際ロータリーは何を目指している
のでしょうか？RIの戦略計画は2024
年までの5年間で中核的価値観、
ビジョン声明、行動計画を示し、
ロータリアンに発信して
います。ご承知の通り今年
度のホルガー・クナークRI
会

長は「ロータリーは機会の扉を開く」とテーマに掲げました。地区チーム研修、PETS、地区研修協議会でビデオをご覧になり、皆様の活動計画にも掲載されているものと思います。彼は多くのメッセージを発信していますが、今までのRI会長のテーマとこの10年のRI理事会の決定を重ね合わせますと方向性が見えるようです。RI決定事項ですが、10年前、2010年の中核的価値観(奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)が発表されています。2014年に「いりて学び、出でて奉仕せよ」から、「Join leaders Exchange ideas Take action」に変更されたスローガンが掲げられ、具体的に行動、アクションを強調されています。我々は行動人にならなければならないようです。ちなみに、ロータリーのロゴもこの時に変更になっています。

2016年柔軟性の導入が決定され、私もロータリーはどこへ行ってしまおうのだろうと疑問に感じましたし、職業分類の人数の枠を外し職業奉仕をないがしろにするように感じ、RIの方針は日本のロータリアンにとってとうてい受け入れがたいと正直感じてしまいました。そして、会員増強、寄付集めを強調する姿は、私もロータリアンとして「親睦と職業奉仕を中心とした理念」から築き上げられていましたので、RIが資金集めを主眼に置いてると疑ったこともありました。さらに2017年にはビジョン声明を発表し、その行動計画が作られました。自分自身の中で、地域社会、世界で良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指すというのが趣旨ですが、ビジョン実現のために行動計画が示され、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的かわりを促す、適応力を高める、と言った行動計画が示されました。ビジョン声明は今後のロータリーを拡大するための指針であり、RI会員の共通のスローガンでもあります。

2017-18年度から過去のRI会長のテーマを振り返ってみましょう。スライド下から ライズリー氏の「変化をもたらす」、ラシン氏の「インスピレーションになろう」、マローニー氏の「世界をつなぐ」、クナーク氏の「機会の扉を開く」と続きました。見事にビジョン声明を達成するための、戦略計画にのっとったテーマだったように感じます。今までの流れを理解して頂き、地域社会のリーダーと共に、我々の仲間を拡大し、奉仕活動資金を増大することによって、「我々ロータリアンが地域社会での行動人となる」ということが目指していることなのかも知れません。

ここでホルガークナークさんのクラブ訪問の際に伝えてほしいことを再びお伝えいたします。

- 1.新しい革新的なクラブモデルを作ること
- 2.少なくとも1回の戦略会議を開いて頂きたい
- 3.新会員を注意して選びましょう
- 4.ポリオ根絶のための寄付と、10月のポリオデーに合わせてイベントを開催してほしいと言う、4点です。今年度のホルガークナークさんのメッセージも同様に行動計画にのっとっています。

ここで私が国際協議会から帰ってきて、作ったポリオ募金箱をお見せします。是非、ポケットマネーを拠金して頂きますようお願いいたします。1人30ドルが目標です。新型コロナウイルスのパンデミックで、奉仕団体キワニス、ライオンズ、オプチミストらとの共同声明が発表されました。ご紹介いたします。新型コロナウイルスに対する世界的取り組みは、すべての国での行動にかかっています。今こそ、行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援を提供するときですと前会長マローニー氏は訴えています。各地域の奉仕団体と共に行動を起こしましょうという内容です。地区大会の目的も「地区内の会員と地域社会リーダーが一堂に会することでロータリーへの関与を深めさせ関係を強化し、世界

にロータリーのインパクトと奉仕活動を披露する事にある。」変更されとされ、内輪のロータリアンだけの会以上の拡大が望まれています。未だ出口が見えませんが、ロータリーがこの危機に立ち向かうことは責務でしょう。

最後にもう一つお願いがあります。今年オリンピックの開催で記念すべき年のガバナーとなるはずでした。オリンピックは中止となりましたが、日本のロータリー100周年記念の年にはかわりありません。記念バッジはすでに販売され、記念切手の販売が9月18日に予定されています。

祝賀会開催は疑問ですが、共に祝いましょう。宜しく御協力ください。また近々熊本と、福岡県豪雨災害義援金の依頼を送らせて頂きます。こちらも宜しくお願いいたします。

今年度は、新しいプログラムとして RLIを地区で行うべく準備を進め、2月23日、24日の二日間ディスカッションリーダーの養成研修会を行なっています。現在の状況下では研修会の開催はかないませんが、しっかりと準備を進めてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。仲間を増やす私の考えと、国際ロータリーの目指す姿を中心にお話しさせて頂きました。こんな時でも、今年一年、活動され素晴らしい成果を上げられますよう御祈念申し上げます。

柴田ガバナー補佐



先程、会長幹事懇談会で4項目のミッションおっしゃられました。1番目は定款再則の変更確認です。西クラブさんはしっかり出来ておりました。何が何でも直せということではないですが一部だけ変更しているクラブさんも有るようです。明日も昼夜とダブルヘッダーで公式訪問回りますが、どれだけのクラブが変更されているかを確認してまいりたいと思います。

それと2番目が先程も出ましたが会員増強です。私のクラブも昔は若いクラブだと言われました。私が入った25年前は確かに若かったですが、今は年を取って古希を迎えるような歳になりました。若い世代を入会させないと南クラブの存続は厳しくなりそう。その反面に西ロータリークラブさんはドンドン若い人が入会され前途洋々に感じております。それと女性会員の増強、人間関係とか難しい部分で調整するのが非常に大変な思いをしたこともありますが、協調性・仲間意識を持った人仲間を集めていただければと思います。

3番目がプログラムへの積極的参加。これはIMですとか色々あるかと思いますが積極的に参加をしていただきたいということです。私も地区資金小委員会の委員長やっている関係上、寄付のお願いです。気持ちよく快く素直に出していただければなと思いますが、ガバナーがおっしゃっておりました。あまり無理をしないように。人のために徳を積むということが非常に必要ではないのかなと感じております。

最後にRIクラブの構築です。クラブ間の交流ということで来年の3月27日、当会場で私ガバナー補佐のIMを行う予定でおります。当クラブの35周年の式典もやる予定でしたが延期になっていて、来年の5月頃に開催しようかと進めております。ホテル総支配人確認したところ「250名MAXでしょう」ことなので出来るだけ全員参加の会費と250名以内の出席をお願いしたいと思っております。

以上第6分区ガバナー補佐の話を終わらせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。